



## 令和3年度 第2回 学校運営協議会が行われました

今年度2回目の学校運営協議会を夏休み前の7月6日（火）に行いました。まん延防止等重点措置が発出・延長される中、可能な形を模索していくつかの学校行事を終えての会議となりました。

### はじめに

「巷ではまん延防止等重点措置がさらに一ヶ月延期になるとか、オリンピック開催に向けて準備が進んでいるというニュースで賑わっています。ワクチンの普及も進み始めており、また実際に顔を合わせて集まれることを願っています。新しい時代の中でどうすべきかを考えていく学校運営協議会をよろしく願います。」との戸塚会長のお話で会議が始まりました。続いて濱崎校長からは「自宅より、オンラインで参加。委員の皆様のお気持ちがありました。」と切り出し、まん延防止等重点措置が延期された場合の修学旅行や自然教室の延期判断



についてや、終業式の変更について話がありました。また、会議の途中では、水泳授業が1クラスごとの実施・更衣場所の分散・指導者用マスク購入等、感染防止対策を徹底して開始したことや、市教育委員会が進める地域運動部活動推進事業に参加したことについて話がありました。



<b>目次:</b>	
<b>学校行事について</b>	<b>1</b>
<b>体育大会・校外学習</b>	
<b>学校保健委員会</b>	
<b>学校評価について</b>	<b>2</b>
<b>学校運営費</b>	<b>3</b>
<b>令和2年度決算・令和3年度予算</b>	
<b>いじめ防止対策について</b>	<b>4</b>

#### 令和3年度 鴨志田中学校学校運営協議会委員

- 会長 戸塚 昌行（鴨志田町内会長）
- 副会長 佐藤 優子（鴨志田中学校PTA会長）
- 委員 奥田 妙子（中里北部連合町内会長）
- 委員 福島由香子（地域コーディネーター）
- 委員 富川 貴子（主任児童委員）
- 委員 照井 仁（鴨志田地域ケアプラザ所長）
- 委員 真下麻里子（宮本国際法律事務所弁護士）
- 委員 濱崎 利司（鴨志田中学校校長）
- 事務局 高沢 忠弘（鴨志田中学校副校長）
- 事務局 近藤 啓太（鴨志田中学校主幹教諭・教務主任）
- 事務局 福島 義之（鴨志田中学校教諭・通級主任）
- 事務局 米川 久子（鴨志田中学校教諭・3学年主任）
- 事務局 石川祐美子（鴨志田中学校教諭・2学年主任）
- 事務局 高田 悟（鴨志田中学校教諭・1学年主任）
- 事務局 長谷川 満（鴨志田中学校教諭・生徒指導専任）
- 事務局 緒方 悠（鴨志田中学校教諭・ICT担当）

※敬称略

### 学校運営協議会とは

「法律に定められた権限を与えられた、地域・保護者・有識者などから構成される学校運営改善を目的として協議する組織」です。設置校数は年々数を増し、令和2年度現在、横浜市内公立学校約509校のうち256校に設置されています。本協議会では、今年度も子ども

たちのために、よりよい学校づくりへ向け、学校・家庭・地域の連携を進めてまいります。

また、この協議会に「拡大いじめ防止対策委員会」を併置し、いじめを中心に子どもたちの抱える課題について話し合い、解決を図っていきます。

## 学校教育目標

「感動を分かち合おう」  
 「目標を高く掲げよう」  
 「真理を追究しよう」

これらの目標の具現化のために方針を立て、手立てを工夫し、その結果を分析して、より高い目標へ向け次の方針を立てて取り組んでいきます。



グループに分かれて様々なプログラムを行い、集団づくりの基盤となる多くのことを学びました。

# 話し合いでは…

## 1 学校行事について

学校運営協議会では、毎回学校行事について次の協議会開催日まで実施内容のお知らせと今回までの取組の総括をしています。実施日のお知らせと結果報告だけでなく、行事实施後の反省やアンケート結果をもとに次の改善に生かす手立てについて話し合っていくことを重視しています。

6月上旬に予定されていた3年の修学旅行は9月上旬に、2年自然教室は10月上旬に延期されましたが、その後、緊急事態宣言の発出を受けてさらに変更になりました。

## 1年 校外学習

6月17日に足柄のPAAロープスコースに行き、集団づくりの基礎となる活動(PAA)をしました。事前の生徒同士の相談は全てなしで臨み、「協力し、尊重し合える一年生」を合言葉に、一つの課題に対してグループで考え、アイデアを出し、声を掛け合い支え合って解決していくプログラムに取り組みました。指導員のアドバイスを受けながら体を動かして協力の仕方を学ぶ一日となりました。その後の学級活動に向けて良い経験をすることができました。



晴天の中、初めての学年全体の写真を撮ることができました。

## 令和3年度 体育大会

5月20日(木)雨予報の中、競技を縮小しながらも無事に開催することができました。体育祭実行委員会を中心に、できることを考えてきました。1年生は、体力向上も兼ねて走りながらの玉入れを、2年生は、クラス全員で力を合わせて綱引きを行いました。3年生は、個々の力とクラスの戦略を生かした「飛びつき綱引き」を実施しました。また、1年生から3年生までバトンをつなぐクラス縦割りリレーを新しい種目として行いました。体育大会を演奏で盛り上げた吹奏楽部をはじめ、準備・運営を頑張った各委員会・各部の活躍や、3年生保護者の応援やPTA役員の皆様の協力もあり、最後まで実施することができました。今後も情勢を踏まえつつ、できる形で継続していきたいと思えます。



1年 玉入れ



2年 綱引き



3年 飛びつき綱引き



全校クラス縦割りリレー

## 学校保健委員会

「基本的な生活習慣の確立を目指してコロナに負けない抵抗力を高めよう! “食・ストレッチについて”」をテーマに、保健委員会が食生活の現状についてアンケートを行い、その結果をパワーポイントで報告しました。また、特別講師としてサッカーJリーグ、横浜F・マリノスの望月コーチが講師として来校し、「将来に向かっての食習慣作り」をテーマに中学生に必要な栄養についての食育指導をしていただきました。生徒たちは教室で資料をそれぞれのクロームブックで見ながら講話を聴きました。会議室から中継される画面を見ながら、実践的なストレッチも学ぶことができました。

会議室から中継して



教室で画面を見ながら参加



ストレッチも実施

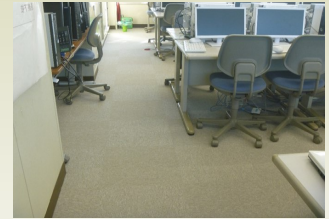




### 3 学校運営費令和2年度決算・令和3年度予算

平成30年に策定された横浜市の学校施設の長寿命化計画の方針で、建て替えの基本は築70年と示されています。本校はもうすぐ築37年を迎え、ようやく耐用年数の半分を過ぎたところです。しかし、校舎・付帯施設等の老朽化は築年数なりに進んでおり、子どもたちの安全のために定期的な修理・工事が必要となっています。

したがって、運営費に占める修繕費の比率がどうしても高めになります。今年度も子どもたちの学校生活の安全を第一に配当予算を有効に使っていきます。昨年度は少人数教室のエアコン設置、コロナ対策で蛇口レバーの設置、換気対策の体育館用送風機購入、パソコンルームのカーペット張替えなどを行いました。



### 4 いじめ防止対策について

生徒指導専任教諭から、学校でのいじめ認定事案についての報告後、意見交換を行いました。「SNSでのトラブルが増えており、学校として、学校で起きていないことの実事確認が難しい。夏休み前に注意喚起していきたい。また、問題として明るみに出るまで、我慢してしまい、積み重なるものも出てくる難しさがある。」という報告に対して「いやなことをされて、我慢することで解決することが多いのでは。我慢した後で抱え込んでいる生徒がいないか心配。」との御意見等をいただきました。「SNSなどの生徒指導の際に、実は今までにこういうことがあったと積み重なってきたことが初めて出て来ることが多い。学校だけでは見えていないことも多いので、アンケートや面談を通して情報を吸い上げるようにしているが、地域や保護者等、多くの目で気が付いたことを教えていただければありがたいです。」

#### 【いじめの定義】

「いじめ防止対策推進法第2条第1項」

この法律において「いじめ」とは、児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているものをいう。

このように、いじめの定義には、

- ① 行為をしたもの(A)も行為の対象となったもの(B)も児童生徒であること
- ② AとBとの間に一定の人的関係が存在すること
- ③ AがBに対しての心理的又は物理的な影響を与える行為をしたこと
- ④ 当該行為の対象となったBが心身の苦痛を感じていること



生徒指導専任：長谷川教諭

### おわりに

会の最後に、PTA代表の佐藤副会長より、「地域部活動推進事業への参加について、良い意味でとても衝撃を受けた。部活動の保護者の間で外部コーチの話題が出ることもあり、子供たちがより達成感をもてるような部活動になってほしい。専門的な指導を受けられたり、先生方の働き方改革にもつながったりするので良い取り組みだと思う。また、鴨志田中学校はいじめ問題もあまりなく安心している。地域の方に見守られ、先生方に寄り添われ、保護者として学校が子供にとっての拠り所となっているという安心感がある。これからも学校・家庭・地域が協力してこの環境を大切にしていきたい。」とお話をいただきました。

